

あけましておめでとうございます。

今日、ここに第三十九回雅風展を、京都市そして京都新聞との共同主催で開催できますことは、至上の喜びでございます。

日頃から丹精こめて培養し、見事な作品に仕上げ出品いただいた会員の皆様に深く感謝申し上げますとともに、協賛いただいている日本小品盆栽組合、株式会社近代出版と、企画運営にご苦勞いただいた実行委員会の皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、去る平成二十三年四月一日に公益社団法人として認可を受けて三年を経過しました。法人としての組織と運営上の骨組みは完成しましたが、実質的な事業運営は構築途上で、これからが本番でございます。

来る平成二十七年度は「雅風展」が四十周年の節目を迎えますが、行く手には厳しい試練が待ち構えていると思います。

この厳しい環境を乗り越えるうえで、将来に向けて明るいニュースが出来ました。それは、協会の生みの親である日本小品盆栽組合に所属する組合員の方々が当協会の賛助会員から正会員になっていただいたことでございます。

この事は、協会員であるプロとアマが、従来にも増して一致団結し、小品盆栽の技術の向上と普及発展を目的とし、文化の向上を目指して活動できる土俵が出来たことを意味します。

わが協会は小品盆栽の未来をつくらなければなりません。

「雅風展及び全国各地で開催する雅展」の会場、更には「認定会の活動」を通じて実施する「小品盆栽普及活動」をより活発に展開し、末永く後世に伝えることが、公益法人である協会としての最大の責務と考えております。

内閣総理大臣賞を始め数多くの賞状が交付される「雅風展」は協会の財産であります。

会員の皆様の総力を結集しで、スローガンとしている「みんなに愛され、親しまれる、魅力ある協会」を築いて行きましょう。

平成二十六年一月九日

公益社団法人全日本小品盆栽協会会長

白井 暢